

2013年2月15日

多治見市長 古川 雅典 様

多治見市バリアフリー推進市民委員会
委員長 宮嶋 淳

多治見市バリアフリー推進市民委員会の発展的解消にあたって（要望）

立春の候 貴職には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、多治見市のバリアフリーをはじめ総合的な福祉推進に日夜ご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

平成24年度末日をもって、貴職よりご提示のありました標記の件につきまして、同委員会の座長を3期6年にわたり担わせて頂いた立場から、下記についてご要望申し上げます。

記

1. 本市のバリアフリー化のさらなる推進のため「多治見市バリアフリー適合証」に関するPRを促進し、風化させないようご尽力をお願いします。とりわけ、多治見駅北地区公共公益施設が完成した折には、出来るかぎり早期に「優良認定」を取得してください。
2. 「第3期バリアフリー推進計画（目標年度：平成27年度）」では、「ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくり」にまで、踏み込んだ記述を致しておりません。しかし、「多治見市バリアフリー基本構想」の基本方針の柱には、この理念が盛り込まれています。確実な実行がなされるよう調査・研究を推進してください。
3. 「第2期バリアフリー推進計画」の未達成課題においては、「財政問題」が背景となっていました。「多治見市バリアフリー基本構想（目標年次：平成32年）」が確実に推進されるよう、財源の確保にご尽力頂けるようお願いいたします。
4. 「心のバリアフリー」の推進には、市民・事業者・行政の連携が欠かせません。今以上にNPO・NGOや市民団体、社会福祉協議会などコミュニティ・ベースの第三セクターを広くご活用頂けるようお願いいたします。

以上